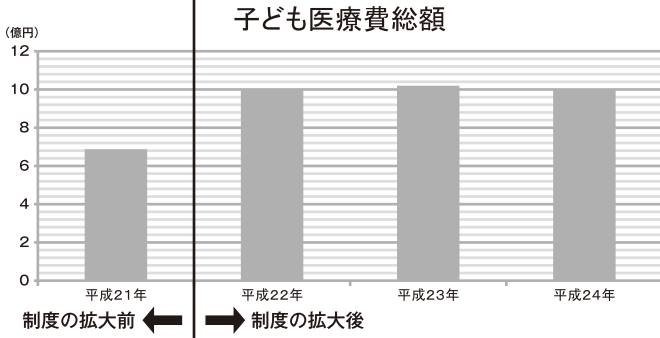


医療

子ども医療費受給者 拡大後の受診状況

市では、子ども医療の受給対象者を平成22年1月から拡大し、中学生以下の子ども医療費の無償化と手続きの簡略化を行っています。

医療機関窓口での支払いや市役所での申請の手間がなくなり、医療費も無料となったこと



で、より利用しやすい制度となりました。

制度拡大の前後を比較すると医療費が伸びていることがわかります。(上図参照)

子ども医療制度拡大は、先輩パパ・ママのリクエストにこたえて実現されたもので、地域の「どうしよう?」を解決し「こうしたい」という思いをかなえるため用意された「市民予算枠」を財源としています。

市民予算枠は、限られた財源を有効に活用しながら、子ども医療の無償化のほか、いつまでも住み続けたい高浜市であるための事業に使われています。

子どもたちの健やかな育ちのためには、安心して医療を受診できる環境のほか、豊かで暮らしやすい安全・安心なまちづくりも大切です。

子どもたちの将来に向けて財源を活かしていくために、医療の適正な受診に協力してください。

医療機関適正受診のために

●時間外、休日受診はなるべく避けましょう

休日や夜間に開いている救急医療機関は、緊急性の高い患者さんを受け入れるためのものです。

また、医療費も高く設定されていますので、平日の時間内に受診することができないか、もう一度考えてみましょう。

●医師のかけ持ちは控えましょう

同じ医療や検査の繰り返しは、医療費が余分にかかるだけでなく、かえって身体に悪影響を与えてしまうなどの心配があります。今受けている治療に不安などがあるときには、そのことを医師に伝えて話し合ってみましょう。

●かかりつけの医師を持ちましょう

何でも相談できる「かかりつけ医」を持って、気になることがあったら、まずは相談しましょう。

●薬のもらいすぎに注意しましょう

薬が余っているときは、医師や薬剤師に相談しましょう。また、薬は飲み合わせによって、副作用を生じることがあります。

●後発医薬品(ジェネリック医薬品)をご存じですか

後発医薬品とは、先発医薬品(新薬)の特許が切れたあとに販売される、先発医薬品とほぼ同じ成分のものです。このため、先発医薬品より安価であり、患者の薬代金の負担軽減に

もなりますが、一部、先発医薬品に比べて効果・効能に違いがあるものもあります。後発医薬品を希望する場合は、かならずかかりつけ医または薬剤師に相談してください。

子ども医療費助成は、出生から中学校卒業年(15歳)の年度末までを対象に、県内の医療機関での通院および入院の保険診療自己負担分を、保険証に子ども医療費受給者証を添えて提示することにより無料にするものです。

問合せ先

困市民窓口グループ
☎521111(内線227)

愛知県小児救急電話相談

かかりつけの医師が診療していないことが多い夜間に、症状に応じた適切な医療相談が受けられるよう、看護師(困難な症例の場合は医師)による保護者向けの電話相談事業です。

相談受付日時 毎日/午後7時~11時

☎8000(短縮番号)
※ダイヤル回線、IP電話、ひかり電話などで短縮番号を利用できない場合は、☎052

広告

中部国際空港・三河安城駅へは 便利な路線バスをご利用下さい

*三河高浜駅前(西口)発時刻

中部国際空港行き 6:11 9:13 13:03 16:23

—— 中部国際空港までの所要時間(最速)39分 ——

三河安城駅前行き (△は南安城駅行き) 11:48 15:08 △19:28 22:36

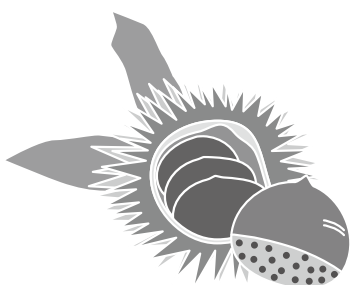
*高浜神明前 発時刻

■中部国際空港行き...6:06 9:06 12:56 16:16
■三河安城駅前行き...11:53 15:13 19:33 22:41

知多乗合(株) ☎0569-21-5234

19699900

●愛知県救急医療情報システム
愛知県の救急医療、病院・診療所、休日夜間、外国語対応などの情報検索ができるホームページです。
<http://www.aq.pref.aichi.jp/>



訂正

広報たかほま10月1日号9ページ「とりめし」がつむぐ輪の掲載内容に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。
豊川市で開催されるボーグランプリの開催日 (誤) 11月8日(土)・9日(日) → (正) 11月9日(土)・10日(日)